



SSKW

moderato

2002年4月23日 第3種郵便物認可(毎月3回5の日発行)
2015年12月22日発行 SSKW 増刊通巻3785号

【モデラート:中くらいの速さで(音楽用語)】

Vol.67

新年のごあいさつ

～利用者、家族、職員、ひとつになって佳き一年を～ …… P2-P3

【特集】ガイドヘルパーについてお答えします、知らせます …… P4-P6

■「Samu's Voice」: 理事長コラム …… P7

■「ますます華麗に 節子の部屋」: 西條節子さんコラム …… P7

■「あっと!」表紙解説 …… P8

2016年

新年のごあいさつ

利用者、家族、職員、ひとつになって佳き一年を

利用者自身の「意思」を見極める支援を

社会福祉法人 藤沢育成会 理事長 石川 修

あけましておめでとうございます。

知的障害児施設職員として迎えた社会人初めての元旦は「初外出」の担当だった。行先はマリントワー。初詣客が多い神社には到底行ける職員配置ではなかった。弁当持参で昼前からの外出だったが、山下公園で弁当を食べようにも真冬の海風が強くとて座る気にはなれなかった。仕方なく我が家（実家）に連れ帰り遅い昼食をとった。今ならあったかいラーメンでもすすめるのだろうが当時は交通費だけだった。年末年始の帰宅時、誰からも年賀状が届かない顔が浮かんだ。そこで年賀状を買いクレヨンで絵を描いた。なぐり書きもあったが、絵具で飾り1年の様子を簡単に記した。帰園時、くしゃくしゃの年賀状を握りしめた得意顔が忘れられない。お母さんも「あの子が年賀状を受け取るのは初めて!」と笑顔だった。ポストに入れたものが戻ってくることを知らないため投函することを躊躇した人もいた。社会生活をしていなかった。

時を経て今号は「ガイヘル」の特集。積極的に社会参加するための援助に時代の変化を実感する。しかし、さらに進化するため、外出先も「自己決定支援」。本当の自己であるためには多様な見方が必要。なぜなら支援者や家族の意思が自己決定と誤解しやすいから。年頭に当たり改めて利用者自身の「意思」を見極める支援をしたいと考える。本人や周辺の人々の意思を確かめる力量、調整力を持つこそプロだと心新たにしたい。

次世代に期待して

いつわ会（藤沢育成会施設利用者家族連合会）会長
湘南あおぞら家族の会 会長 安達 昭三

新年にあたり、日ごろ心に思っていることを綴ってみました。

湘南あおぞらでは設立（平成10年）と同時に家族会を発足させ、その仕切り役を仰せつかってすでに18年、そして翌平成11年から五つの事業所を束ねるいつわ会の役務を引き受けてから17年が経っています。利用者・親御さんの中には、すでに亡くなられた方たちもおり、メンバーも入れ替わっています。両職とも、そろそろ選手交代の時期ではないかと考えています。藤沢育成会では、昨年度新たに6つ目の事業所として「だいち」が発足、最初からドア・ツー・ドアの送迎サービスまで受けられる時代になりました。今は昔のように親たちが動かなくてもいろいろなサービスが手に入るようになりました。しかし、このまま成り行き任せでいいのでしょうか。

高齢化していく親たちにとって、親亡き後（親たちに支援能力がなくなった後）には障がい者を取り巻く難題が山積しています。若い親御さんたちも明日は我が身の話です。先の東日本大震災の時にも、被害に遭った障がい者たちの数は健常者の倍近い数字だったといわれています。障がい者が将来にわたって地域で安心して暮らしてゆくためには、成年後見制度は無論のこと、障がい者の身の回りに少しでも多くの支援者が居てくれるような仕組みが出来ることです。

この先も家族が結束してその方策を考え、提案していく必要があり、その役割を若い親御さんたちに継いでいただき、ぜひお父さんたちにも参画していただきたいと思っています。蛇足になりますが「だいち（いとぐるま）」にはまだ家族会が誕生していません。一日も早く「いつわ会」への仲間入りをしていただきたいと願っています。

地域の理解を求めて活動 湘南セシリア 家族の会 会長 石川 久子

新年あけましておめでとうございます。

湘南セシリアでは、一昨年に利用者の日中活動の場として、善行団地内の空き店舗を改修して作業場を作り、「おりおん座」をオープンさせました。利用者が毎日元気に通って2年になります。その善行団地では、毎年「夏祭り」と「秋祭り」を開催しています。「夏祭り」は毎年湘南セシリアも参加をしていましたが、「秋祭り」に関しては今年度より参加をしました。

これまで、「セシリア・みらい社合同祭り」を行ってききましたが、「生活の場での祭りは、あまり適さないのでは？」という観点から、新たな取り組みを模索している際に、善行団地では、「秋祭り」も開催している情報を得て、入所施設も「地域」の祭りに参加することで、障がい理解の啓発にも繋がるのではないかと思います。今年度より参加をしています。出店内容は、おりおん座の活動内容や存在を地域の方々へ知って頂くことを目的に、「万華鏡作り・ぶんぶんコマ作りを体験しよう」というワークショップの内容を企画しました。2日間の祭りは、冷たい雨が降るあいにくの天気でしたが、私も最終日に顔を出しました。

家族の会として祭りへの協力は少しばかりの手伝いしか出来ませんでした。今後もこの湘南セシリアの取り組みを通して、地域の方々少しでも利用者のことを知って、理解を深めて頂けたら嬉しいと思っています。

「大丈夫」を心にきざんで みらい社 家族の会 会長 武山 薫

2015年度会長の武山です。この一年、成年後見制度や将来の生活設計について、私なりに勉強してきました。理解する程に、制度の難しさ、矛盾、人手不足を感じています。そして何より、家族の会として何が出来るのかと思わざるをえません。しかし、立ち止まってはられません。安倍首相は「一億総活躍社会」を謳い、「誰もが一步前に進む社会に」と話しています。私達の子ども達も半歩でも進む事ができるよう、皆さんと考えて行きたいと思っています。

息子が統合保育で通った保育園で、副園長先生が、「大丈夫よ、お母さん」とよく励ましてくれました。以来、親子で、「大丈夫大丈夫」と言って過ごしてきました。「大丈夫」は必ずしも裏付けのある言葉ではありませんが「心構え」のような言葉だったのです。進む方向も明確ではない前途ですが、今年も「大丈夫」を心に歩いて行くつもりです。

できたらいいな、新年は夢いっぱい 湘南ゆうき村 家族の会 会長 信永 圭子

♪2016年、新しい年のはじまりはじまりい〜。

今年はどうなるかな?何かいいことあるかな?子供の頃のお正月の楽しみは親や親戚からのお年玉。親になってからはどうでしょう?1年の計は元旦にありというけれど、家族みんなの健康を願うだけでは?確かに健康は大事だけど、でもゆうき村家族会会長としてこれでは夢も希望もちとさみしいかな?

先立つものはこっちにおいて(笑)こんな夢を描いてみた。いつわ会所属事業所の建物をみ〜んな建てかえて、勿論エレベーター付き。土地も広く、駐車場もたっぷりとして送迎車両も増やして。旅行用のバリアフリーバスも各施設に置いていつでもおでかけOK!グループホームも入居者のニーズに合わせて選べるように、体験者用ホーム、高齢者用ホーム、医療型ホーム、サテライト型ホーム。障害者用総合病院も待ち時間なしで診てもらえたら。スタッフのお給料も、もちろん大幅アップ↑理事長が宝くじを…おあとがよろしいようで。

信頼し、望みを託す よし介工芸館 家族の会 会長 麻尾 圭子

新年、明けましておめでとうございます。

我が家の三男坊は24才。「よし介」に7年、「だいち」との併用で2年程たつ。通所し始めの頃、親子で湘南台駅でバスを待つと先輩の親子さんとお会い彼の両頬が上がる。途中のバス停でも先輩を見つけ笑顔になる。遠藤で降り、皆で歩く。彼の後ろ姿を見送っているのを、わかってか帽子をサッと上げる。(高倉健さんか!!)私への合図らしい。こんな始まりだった。指導員さんとの面談で、彼の長所を見て、見守ってくださる事を知り、安心した。

施設の姿勢を信頼でき、考えや感じるところを率直に伝える機会がある。それが親の切実な望みだと思う。私達家族は、試行錯誤の末に得た、平凡な日常生活を穏やかに過ごしている。だいちのショップで働く?彼の姿を見に行くのが今の私の楽しみだ。これから課題も沢山でてくると思う。親亡き後の自活など、私も彼にならい、先輩に教えを乞いたい。

今年も、よろしく願いいたします。

理事長、各事業所の家族の会会長に新年のごあいさつと抱負を寄稿いただきました。利用者支援という一つの目標に向かって、一丸となって進む一年を祈念して。



麻尾会長 (よし介工芸館)

信永会長 (湘南ゆうき村)

武山会長 (みらい社)

石川会長 (湘南セシリア)

安達会長 (湘南あおぞら)

石川理事長

ガイドヘルパー について

お答えします

知らせます



今回は、満を持しての
「ガイドヘルパー特集」です！

- ① ガイドヘルパーの仕組み
- ② どうやったら利用できるの？
- ③ どんなところに出かけているの？
- ④ 何歳から利用できるの？
- ⑤ 事務所はどこにあるの？

まだまだ、知らない人も多いと思います。
ガイドヘルパーをめぐる5つの疑問に
ばっちりお答えします。

1

ガイドヘルパー とは？

「移動支援」や「行動援護」などの制度を使って外出することです。「移動支援」は市町村の事業で、それぞれの自治体で制度の内容を工夫できる仕組みになっており、例えば藤沢市と鎌倉市、茅ヶ崎市で、それぞれ利用できる内容や時間帯なども違います。「行動援護」は区分3以上でかつ、行動に関する聞き取り項目（12項目24点中）10点以上の方が利用できるサービスです。こちらは国の制度で、全国どちらにお住まいでも、同じ基準で利用できます。

ヘルパーの声

笑顔と有難うの言葉を支えに

山口 勝之さん

サービスセンターばる
登録ヘルパー



私はガイドヘルパーを始めて、11年目に入りました。きっかけは当時理事長だった知人の西田氏に誘われ、研修を受講しました。何も知識や経験がなく、全て手探りで、無我夢中でした。当時はまだ利用者の方に気に入られる様、又お母様に嫌われない様にどうしたらいいのか、だけででした。特に長い時間出掛ける時など周囲の目を気にしたり、目立たない様にするのに必要以上に気を遣ったりしました。ところが私達と同じ様にペアを組んで動いている人に沢山出会う事が多くなり、逆に我々を見本にして欲しい位だと思えるようになったのです。最近は特に将来を心配されておられるお母様のお気持ちが少しは分る様になってきているので、共同生活時に困らない様に苦言を呈する事もあります。ところで2人で行動を共にしていると、逆に私に気を遣ってくれている事が分ると深く反省させられる事が多々あります。感謝です！ヘルプ終了時の利用者の満足そうな笑顔とお母様の有難うのお言葉を最大のご褒美に今日も頑張ろう！！

2

どうやったら 利用できるの？

市役所に、受給者証の申請をします。いつ、どんな内容で、どのくらい外出したいのか、を窓口でお話すると、受給者証が発行され支給決定されます。受給者証には、1か月に何時間のヘルパーが利用できるか、ということや、利用した場合の費用負担の割合や上限額が記載されます。それを持って、事業所と契約をします。

費用負担の例

基本的に世帯の収入額に応じて費用負担が決まります。

移動支援

児童の場合は5%（藤沢市の場合）
……… 1時間で150円程度です。

成人の場合は0%（藤沢市の場合）
……… 0円です。※18歳になった翌月から適用

行動援護

児童の場合は10%
……… 1時間で400円程度（ただし、上限額の設定あり）

成人の場合は10%
……… 同上。ただし、上限額が0円の人が多く、負担0円が大多数。

3

どんなところに 出かけているの？

ガイドヘルパーはマンツーマンのサービスなので、それぞれの利用者さんに合わせた内容や時間の長さ、開始場所や終了場所など、ご本人ご家族と相談して決めます。よく行く場所は、辻堂海浜公園、湘南モール、湘南台文化センター、各地域の子供の家（みらい創造財団）等です。また、床屋やレストラン、映画、コンサートなどにも行きます。外出する際にかかるお金（交通費や入場料）は、ヘルパーさん分も利用者さんに負担していただいています。

利用者の声

生活にいろいろと変化

西村 玲子さん

西村伊織さんのお母様



サービスセンターばるを息子が初めて利用させていただいたのが確か小学校2年生の時だったと思います。17年という長い年月をかけてヘルパーさんとの交流を続けていることになりました。重度の知的障害があり、言語も全くないため、意思疎通もスムーズにできません。その上、新しい環境に慣れるのに一ヶ月時間がかかるタイプでもあるので、対応には大変根気が必要です。小・中学時代は本当にヘルパーさん泣かせだったと思います。それでも時間をかけて関係を作り上げていくうちに、ばるが生活の軸のひとつとなっていました。ちょっと先の楽しみがあると生活に張りがあるのは障害のあるなしとは関係ないと思います。ジェスチャーなどを交えつつヘルパーさんとの外出も楽しめるようになり、今ではヘルパーさんに散歩ルートをあれこれ指図（?!）することもできるよう。毎日の生活にいろいろと変化を与えてくれる存在となっていることが親としては何より嬉しいです。個別カレンダーを作っただけの利用日はマークで予定を伝えているのですが、ばるで過ごしたその日に（まだ決まっていなくて）次の予定日を勝手に決めて張り替えたりしています。行動援護などスキルと忍耐力が必要なヘルパーさんがこれからも増えてほしいと思います。

4

何歳から利用できるの？

特に利用できる年齢に定めはありません。未就学のお子様から、年配の方までご利用されています。

5

事業所はどこにあるの？

藤沢育成会では、湘南ゆうき村とサービスセンターばる内に、それぞれのヘルパー事業の事務所があります（事業所紹介参照）。ガイドヘルパー以外にも、ホームヘルプや通院の付き添いなども行っています。そのためには別な支給決定が必要です。他にも市内に多くのヘルパー事業所があり、視覚障害の方のガイドヘルプ（同行援護）や、全身性障害（肢体不自由）の方のガイドヘルプなど、それぞれに特色があります。

法人内ガイドヘルパー事業所案内

湘南ゆうき村

住所	藤沢市西俣野410 (電話：0466-82-6451)
事業	移動支援、居宅介護、重度訪問介護、訪問介護、介護予防訪問介護 藤沢市全域、横浜市戸塚区 栄区、泉区の一部
主たる対象者	知的障がい児者、身体障がい児者 精神障がい児者、高齢者
事業開始年月日	平成18年10月1日
利用者数	69名(契約者数)
スタッフ体制	管理者 1名 サービス提供責任者 1名 コーディネーター 2名 登録ヘルパー 11名

事業所の特徴

基本的には、曜日と時間を固定し、サービスを提供しています。出来る限り同じスタッフが利用者に関わることで、より利用者との関係性を強め、体調の変化等にもすぐ気付くよう配慮し、利用者にも安心して頂けるような体制になっています。障がいと高齢のサービスを行っている為、スタッフも様々な視点で利用者の状況を捉えられています。利用者が安心して、楽しんで頂けるようなサービス提供を心がけていきます。



サービスセンターばる

住所	藤沢市小塚592 (電話：0466-28-0909)
事業	移動支援(藤沢市、鎌倉市) 行動援護、居宅介護
主たる対象者	知的障がい児者
事業開始年月日	平成15年4月1日(支援費制度開始時)※タイムケアサービスは平成11年7月1日～
利用者数	約200名(契約者数)
スタッフ体制	管理者 1名 サービス提供責任者 3名 コーディネーター 3名 登録ヘルパー 69名

事業所の特徴

毎月の利用希望を提出していただき、不定期なサービスにもなるべく対応できるようにしています。登録ヘルパーにも同様に月予定を出してもらうことで、頻度の多寡に関わらず活動できるようにしています。1人の利用者に複数のヘルパーが関わる体制を整備し、支援内容の客観化と、支援の質の平準化、サービス体制の安定化、利用者の選択の機会が保障されるよう努力しています。ガイドヘルパー研修等で登録ヘルパーを養成し、より多くの市民が登録ヘルパーという形で事業に関わることが、心のバリアフリーを推進するうえで重要だと考えています。



Samu's Voice ④

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



あせらず、あわてず、あきらめず

いくつになっても、新年を迎える時には心改まるものだ。しかし、同じ365日であるにも関わらず、年齢と共に1年が早く感じたり、ゆっくりと感じたりする。また場面や状況によっても感じ方が異なる。仕事に追いかけるように暮らしていると、どうしても時間が足りなく感じるが、急ぐことを抱えている訳ではないとゆったりした時間が流れる。一方、せっかちな人はせわしないが、のんびりした人はゆったりとした時間を感じているようだ。現代はせわしくなく、落ち着きなく、あわただしい時代。それが原因でストレスフルな感情に追い立てられることがあり、どうしてもそこから抜け出ることが難しいと感じる時代のようなのだ。

それでは、利用者さんたちの時間はどうか？それぞれの性格や関わっている社会との関係の中で、ふさわしい生活スタイルを求めて暮らしている。人によって異なるが、時間の経過は少しゆったりとしているように思う。入所施設に暮らす利用者さんは、施設で決めた時間を受け入れながら暮らしている。仕事を持つ利用者さんは仕事を中心に時間を組み立てる。1人ひとり違うが、集団生活はどこかで制約を造らざるを得ない。

それはグループホームでも同じ、通所事業にも当然あるだろう。それでも利用者さんたちの時間経過を大事にすることがこの仕事の真髄だと思いたい。

知的障害福祉の先達、のぞく寮を創設、運営した近藤益男、原理親子は、この仕事の極意を“のん気、こん気、げん気”とした。彼らのペースに合わせてどうしても“のん気”に構えることから始めなければイライラして仕方がない…。のん気を決め込むとゆったりとした時間の中で“こん気”良く取り組まなければならない…。そして気長にやっていくためには“継続は力!”。継続は“げん気”でなければ続けられない…と考えた。

私たちの仕事は“暮らし向き”の支援だから、どこかで妥協しなければやっていられない。今のベストは、明日のベストではない…答えが見つけれないだけでなく、毎日進化していると受け止めたい。

そう考えると“まだやれることがある”“もっとやりたいことがある”“いつかやるべきことがある”と考えられる…。そこで“あせらず、あわてず、あきらめず”に続けることが大事だと思う…。だからみんなが仲間になっていくために“ゆっくり、じっくり、しっかり、やろう”。



ますます華麗に
節子の部屋
藤沢育成会後援会『いずみ』会長
西条 節子

地球をみつめて

お正月オセチが山々と並ぶ店の中を歩いて、悲しく、淋しくなると、通りすぎました。多分皆様も同じ心でしょう。一滴の水もない子どもたち、紛争で救いを求めて歩く列に品物が見えてしまいます。救えないもどかしさ、そこで私は何が出来るのでしょうか。私にできることは、せめてシンプルな新年を心静かに

に迎えることでした。地球上の方々の上に、水を食物を与えて下さいと祈りました。

次号から簡単で安くて、栄養満点の節子の料理教室をお楽しみください。

健康に恵まれ、よき一年でありますように。

『あっと!』 日常の中で 見つけたアート

表紙のふわふわの正体は「フェルト」です。よし介工芸館では、週に1回フェルト活動に取り組んでいます。高橋さんは、フェルト活動を進めるなかで、新たな創作イメージを職員と一緒に相談したそうです。それがこの機織り布にフェルトモチーフを融合させるという試みです。作製している時の気持ちをうかがったところ、「楽しい!」と満面の笑みでおっしゃられ、各2メートルにおよぶ作製中ずっと楽しかったそうです。頭の中のイメージをもとに、フェルトを直接

作製者
高橋 未来さん
よし介工芸館

布の上に置きながら、ニードルで「チクチク」しながらフリーハンドで描いています。全てのモチーフに「ねずみ」、「うさちゃん」、「スタッフの顔」等それぞれいきいきと表現されており、皆様ご覧ください。

(よし介工芸館 支援員 池端 君恵)